

ピューパ：ブラジルの子どもの 学習機会を拡大して幼児期の発達を促す



イニシアティブの概要

ブラジルの社会教育企業であるピューパ (PUPA) は、低所得地域の0歳から6歳までの数十万人の子どもたちに幼児教育プログラムを提供するとともに、ブラジルの低所得層の女性に雇用機会を提供する取り組みで、2013年に「ビジネス行動要請」(Business Call to Action: BCtA)に参加しました。

ピューパのイニシアティブの数値目標：

- 2023年までにブラジル全土で最大50万人の子どもたちに学習の機会を提供して、幼児期の発達を促し、その過程と成果を記録・調査する
- 約2,000人の低所得層の女性を雇用してトレーニングを実施し、教材の配布や効果測定などを委託することによって、女性の地位向上を図る
- 最大25万人の保育者・幼児教育者に、ピューパ・プログラムを効果的に実施する方法についてのトレーニングを実施する



ビジネスモデル

神経科学の研究によれば、生まれてから6歳までの期間が、子どもの認知的および生物学的な発達にとって最も大切な時期です。ブラジルでは、推定で1,400万人のこの年齢の子どもたちが、正式な保育施設や幼稚園に通えない状況にあります。それらの子どもたちの保護者の多く、特に低所得世帯は、能力、脳、感情、社会性の形成に最も重要な時期に、幼児の発達を刺激するための情報や手段がないために子ども達の学習のスタートが遅れ、学校に入ってから学習が困難になるリスクを子どもに負わせることになっています。低所得層の子どもの発達にとって主なリスクのひとつは、学習機会がなく、教育的な刺激が不十分なことなのです。

ピューパには各地のパートナーや女性のフランチャイズの営業担当者との独自のネットワークがあるため、我々のビジネスが成長するにつれて、このネットワークを拡大しながら、私たちの教育への取り組みをさらに多くのコミュニティや保育者・幼児教育者に広げていくことが可能です。今後、私たちのノウハウを広く共有し、ピューパのモデルを拡大していけることを楽しみにしています。

ピューパCEO
Mary Anne de Amorim Ribeiro

現在ブラジルには、0歳から6歳までの子ども向け教育プログラムを専門とする企業はありません。ピューパ・プログラムは、ブラジルと他の多くの国々との教育サービスの間にある、大きな格差を埋めることを目指しています。米州開発銀行 (Inter-American Development Bank: IDB) の「Opportunities for the

Majority Financing Facility」(多くの
人々に機会を与える融資制度) から
300 万米ドルの融資を受けて始めた
ピューパ・プログラムは、2010 年に
会社を立ち上げ、独立した組織となり
ました。

それ以降ピューパは、その認知度を
高めて需要を掘り起こし、流通経路を
確立するとともに、革新的な教材を作り、
有益なパートナーシップを生むため
に、新しい市場の開拓に力を尽くし
てきました。

幼児期に学習の機会が多い環境で
成長した子どもたちは、そうでない子
どもたちと比べて、大人になってからの
収入と健康のレベルが高く、社会福
祉に頼る傾向が低くなります。BCtA
に応えたピューパの取り組みでは、す
べての顧客に提供しているのと同じ品
質の教材を、より低価で低所得層の
家庭に提供する「PUPA Vencer」コ
ースを設定しています。

所得の高い顧客から得る利益を配分
することにより、ピューパは低所得層
の人々も自社の教材やプログラムを
利用できるようにしています。また、
値引きや寄贈をサプライヤーから得
ることによってコスト削減も行ってい
ます。たとえば、レゴからは、「PUPA
Vencer」の教材に入れるレゴブロッ
クが寄贈されています。ピューパは
さらに、ピューパの利用者が地元の
NGO、財団、政府などから奨学金を
取得する支援もしています。

ピューパのビジネスモデルの革新は
まだ続いており、さらに進化していく
予定です。



イニシアティブの推進方法

ピューパの教材は 0 ~ 2 歳、2 ~ 4 歳、
4 ~ 6 歳という 3 段階の年齢層別に作ら
れており、低所得層向けの価格は 50 レ
アル(約 21 米ドル)です。ピューパでは、
幼児教育専門家の助言に従って教材を開
発し、子ども向けイラストレーターやアー
ティストなどの協力を得て、子どもたち
に適した、魅力的な教材を作り出してい
ます。全ての教材が、遊びを通じた学習
によって子どもの社会的能力、言語スキ
ル、健康、栄養、計算力、思考力を発
達させるよう工夫されています。それぞ
れの教材には、3 つのパートからなる約
16 時間の参加型のトレーニングプロ
グラムもオプションで提供されており、この
プログラムへの参加費用は世帯月収に対
応した段階式で、100 米ドルから 350 米
ドルの範囲で設定されています。

ピューパは、保護者や幼児教育者向けの
教室、ワークショップ、トレーニングプロ
グラムも提供しています。いずれも幼児
期の子どもの発達を促すためのもので、
参加者は楽しく遊びながら、心のこも
った方法で子どもたちを教え、守り、彼
らの潜在能力を伸ばせるようになります。
また、参加者は、各年齢層に最適な玩
具とゲームを見極め、子どもたちの関心
をひきつけるように物語を読み聞かせる
ことを学び、身の回りのもので独自の「宝

箱」を手作りすることなども学びます。こ
れらのプログラムは幼児期の子どもの発
達に必要な 5 つの要素である「遊び」「音
楽と物語」「健康」「環境と安全」「愛情」
に重点を置いており、教育と幼児発達分
野における国内有数の専門家が内容を
企画し、教えます。

ピューパの教材の販売と流通は現在のと
ころ、NGO、政府、学校と共同で進めら
れています。数年内に 2,000 人の低所
得層の女性によるフランチャイズの営業
ネットワークを確立する計画で、彼女た
ちには担当するコミュニティのリーダーと
しての役割を担うことも期待されていま
す。このような流通モデルはピューパの
市場を拡大するだけでなく、販売数と顧
客数に応じた報酬を受け取ることでよ
うて、これらの女性に安定した収入をもた
らします。また、これらの女性が教材の
引き渡しを行い、顧客サポートを提供す
るとともに、長期間にわたり教材の使わ
れ方とその影響を記録・調査することによ
って、ピューパは低所得地域の顧客と
の密接な関係を築くことが可能になりま
す。

Innovations

that improve lives

ピューパはさまざまな方法を通して保護者や幼児教育者に情報を提供しています。ウェブサイトではピューパの教材について説明するだけでなく、遊びを通じた教育についてのアドバイスや、保護者や幼児教育者が利用できるガイドブックも絵本やオーディオの形式で提供しています。

イニシアティブの成果

学習用教材および関連するプログラムやサービスを通して、ピューパは2023年までにブラジル全土で最大50万人の子どもの発達を促し、その過程や成果を記録・調査することを目指しています。

ビジネスへのインパクト

ピューパは「PUPA Vencer」とは別の教材の販売も行っており、これには、富裕層をターゲットにした「PUPA Amar É」や、学習障害をもつ子どもを対象とした「PUPA Supera」などがあります。これらの採算部門で収益を得ることによって、「PUPA Vencer」を低所得層の家庭向けに手ごろな価格で提供することができます。教育機関、財団、政府などと幅広く連携していることも、低所得層へのサービス提供を可能にしている理由です。

ピューパの取り組みの発端は、レゴエデュケーションが主催した、ブラジル全土の低所得層の家庭を対象とした、レゴ・ロボティクス、冊子、子ども向けトレーニングがセットになったプログラムでした。ピューパでは、レゴなどのパートナーから寄贈される玩具や、NGO、財団、地方自治体からの助成金によって、低所得層向けの「PUPA Vencer」の製品コストを低く抑えています。何らかの理由でこれらの団体からの助成が終了した場合でも、ピューパは低所得市場をターゲットとしたサービスを続けられるようにしていく必要があります。

ピューパのビジネスにとっての最大の利点は、ピューパのプログラムが対象とする年齢層の教材・教育サービスに対する

需要が大きいことです。ブラジルの低所得層の家庭は教育に最大の関心を寄せており、子どもたちによりよい教育を受けさせるためには出費もいとわないことを示してきました。このため、他の教材サービスや保育施設との競争が激しくなっても、ピューパは今後も市場での地位を確保できると考えられます。

開発へのインパクト

ピューパの取り組みは、ジェンダー平等推進と女性の地位向上を目指す、「ミレニアム開発目標」の目標3に対応するものです。ピューパのビジネスモデルは、約2,000人の女性をフランチャイズの営業担当者として雇用し、トレーニングを実施することによって、低所得層の女性に活躍の機会を提供しようとするもので、これらの女性は収入を得ながら、自らの事業を運営する方法を学ぶ機会も得ます。

また、ピューパ・プログラムの最終的な目的は、低所得層の子どもたちが学習する機会を得て、将来よりよい暮らしを実現できるようにすることにあります。他機関の支援も得て実施される効果測定によって、参加した子どもたちの認知力に対する影響および学習の到達度や、将来の暮らしに見られる効果を測定し、ピューパのプログラムと教材を使用しなかった子どもたちと比較する計画です。

ピューパは低所得層の女性をはじめとした各地のパートナーとフランチャイズの営業ネットワークを構築中で、すでにブラジル全土で何百人もの子どもたちに教材を提供しています。2023年までに、対象となる子どもたちの数は50万人に達する見込みです。



主な成功要因

サービス対象者の規模

ブラジルだけでピューパ・プログラムの対象となる子どもたちの数は約1,400万人います。そのうち400万人は保育施設や幼稚園に通う子どもたち、300万から400万人はピューパ・プログラムを独自に購入することができる家庭の子どもたちだと想定されます。ピューパでは、1,400万人の子どもたちの一部に教材を届けるだけでも、収益を確保できると算定しています。

また、他の国でもピューパ・プログラムを提供できる可能性も高いです。何らかの対策をとれば、簡単に子どもの適切な発達を促せるにもかかわらず、毎年、世界中で2億人以上の子どもたちがその認知力と社会的能力を十分に発達させられずにいます。ピューパの取り組みは、通常では学習の機会を得ることができない子どもたちに学習の機会をもたらす力を、どのような状況にもある保護者や幼児育児者に与える大きな可能性を秘めています。

次のステップと波及効果

BCtA で設定した数値目標を達成するために、ピューパは子どもたち、特に低所得層の家庭の子どもたちの学習の機会をさらに増やすことを目指しています。また約2,000人の女性をフランチャイズの営業担当者として雇用してトレーニングを実施することによって、低所得層の女性に活躍の機会をもたらす計画です。



**BUSINESS
CALL TO
ACTION**



BCtA に関するお問い合わせ先：
国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所
Tel: 03-5467-4751
www.BusinessCalltoAction.org
www.jp.undp.org

2013年9月発行